

第12年度

1988-89

昭和63～平成元年

R.I.会長 ロイス・アビー (オーストラリア)

PUT LIFE INTO ROTARY—YOUR LIFE

ロータリーに活力を—あなたの活力を

●国際大会 ソウル (韓国)

第258地区ガバー 川口 隆三(東京東) 東分区代理 鈴木又右衛門(東京江北)



会長
尾崎 義一



幹事
小林 建彦

会長 尾崎 義一
幹事 小林 建彦
副会長 力万 敏生
副幹事 飯島 弘
会計 矢島 博
会場監督 杉山 緑三
理事役員・委員長構成
クラブ奉仕 力万 敏生(理事)
出席 吉永 繁
親睦活動 宮野 利男(理事)
会報 犬伏 英雄
プログラム 松藤 三彦
広報 乙部 公一
会員増強 広瀬喜三男
会員選考 増田 精一
職業分類 田中 大輔

R情報 山崎 市造(理事)
会場監督 杉山 緑三(理事)
ソングリーダー 會谷 健一
健康管理 中沢 幹雄
ニコニコ 吉田 昌弘
社会奉仕 藤村 許次
インターラクト 宮本 義雄
ローターアクト 芦川 一男
青少年 谷古宇仙藏
職業奉仕 西山 徹(理事)
国際奉仕 井上 信昭(理事)
世界社会奉仕 井上 信男
米山奨学 品川 栄一
R財団 上田 喜信(理事)
クラブ特別基金 広瀬喜三男
年次大会推進 吉永 繁
小林 建彦(理事)

地区役員 地区ローターアクト委員長 力万 敏生
地区世界社会奉仕委員・
地区ポリオプラス委員 清水 正雄

会長方針

会長 尾崎 義一

＜テーマ＞ “燃えよう奉仕 拡がれ親睦”

＜活動方針＞

- 先輩前任者が残した実績の積み重ねに、なお一層の活性化に努力したい。
- 各委員会を中心に積極的活動を期待すると共に、地区・分区の行事に出席し、勉強していただきたい。
- 地域社会に対する広報と会員増強に努めたい。

—活動の記録—

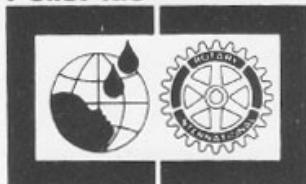
例会場選定委員会設置

上野タカラホテル閉館のため、新例会場選定委員として清水正雄・岸一夫・小松一平・矢島博・西山徹・江川勝・松藤三彦の各氏に委嘱する、会員投票の結果浅草R O Xニューオータニ会館に決定

7. 16 納涼家族親睦会（赤坂・コルドンブルー）
9. 26 東分区懇親ゴルフ大会（ホスト 足立RC・千葉CC川間コース）
10. 8～9 地区ローターアクト年次大会（沖縄ホテル・ムーンビーチ）に参加
台中北RC慈善リサイタル（ソプラノ歌手塚田京子）に訪問参加
11. 25 創立12周年記念例会・来賓 東分区代理 鈴木又右衛門（東京江北） 分区幹事 伊集院実（東京江北）
12. 2 年次総会
12. 23 年忘れ家族親睦会（タカラホテル）
4. 7 台中北RC、何清松会長一行21名、足立クラブを公式訪問歓迎例会を開催
隅田川舟下り観光夜の歓迎会
4. 21～22 第258地区年次大会、沖縄コンベンションセンター
米山功労者8名、ポール・ハリス・フェロー13名、米山奨学会寄附1000万円達成クラブ表彰される。
5. 21 ソウル国際大会 増田精一令夫人とR財団奨学生ヒクソン君等総勢18名参加
6. 2～3 春季親睦旅行（熱海・大観荘）
6. 9 職場見学会（日清紡・西新井化成工場）

会員数55名

PolioPlus



ポリオと共にハシカ、ジフテリア、結核、百日ぜき、破傷風の5つの主要伝染病をプラスして、同時追放を目的としているためポリオ・プラスと呼ぶ。

ポリオ（小児麻痺）プラスについて

1985年、日本の2人のロータリアンやユニセフ（国連国際児童緊急基金）活動の中で行われていたポリオワクチン予防接種活動は国際ロータリーのプログラムとなった。

その後、スエーデン国王グスタフ16世の支援表明と共に、1997年、フィラデルフィア国際大会のポリオ撲滅宣言表明となりました。

1986年に始まったR I のポリオプラスキャンペーンは2億4千2百万ドルという当初の目

標額の2倍以上となり（ワクチン購入資金）、低開発諸国の協力（子供集め）や国連WHO（世界保健機構）の接種活動等と相俟って、1994年7月には西半球ポリオ無発生宣言となつて結実しました。

平成3年7月、日本ポリオプラス委員会は目標額40億円を集め、キャンペーンは終了しました。因みに足立RCは10周年記念事業として100万円を寄付しています。

